

2026/5/7

堺市がん対策推進に係る課題と対策について

堺市がん対策推進委員会 委員長 平松 直樹

<第4期がん対策推進基本計画>

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」		
「がん予防」分野の分野別目標 がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す	「がん医療」分野の分野別目標 適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す	「がんとの共生」分野の分野別目標 がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す
1. がん予防 (1) がんの1次予防 ①生活習慣について ②感染症対策について (2) がんの2次予防（がん検診） ①受診率向上対策について ②がん検診の精度管理等について ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について	2. がん医療 (1) がん医療提供体制等 ①医療提供体制の均てん化・集約化について ②がんゲノム医療について ③手術療法・放射線療法・薬物療法について ④チーム医療の推進について ⑤がんのリハビリテーションについて ⑥支持療法の推進について ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について ⑧妊孕性温存療法について (2) 希少がん及び難治性がん対策 (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策 (4) 高齢者のがん対策 (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装	3. がんとの共生 (1) 相談支援及び情報提供 ①相談支援について ②情報提供について (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援 (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援） ①就労支援について ②アピアランスケアについて ③がん診断後の自殺対策について ④その他の社会的な問題について (4) ライフステージに応じた療養環境への支援 ①小児・AYA世代について ②高齢者について

（厚生労働省）

<緒言>

2013年に「堺市がん対策推進委員会規則」に則り、堺市がん対策推進委員会が設置された。2016年より、私は同委員会の副委員長、本年より委員長を拝命した。2018年に、堺市において「がん検診自己負担無償化」が開始され、5がんの検診受診率は、12.8%（2017）より15.5%（2019）まで上昇したが、その後、コロナ禍の影響で14.0%（2020）に低下して以降、2023年の5類感染症への移行後も14%台と低迷し、検診率の向上を認めない。精密検査受診率も微増にとどまる。

厚労省の「第4期がん対策推進基本計画」に基づき、堺市が行政としてがん対策に貢献できる分野を整理し、各分野における課題を挙げ、これまでの対策に加え、新たな取り組みを検討する必要がある。

1. がん予防

＜課題＞ がんの２次予防（がん検診）

- ① 一般市民におけるがん検診率の向上
- ② がん検診要精査者における精密検査受診率の向上

＜対策＞

- ① がん検診への動機付け:がんの啓発（早期発見、早期治療の有用性の周知）
- ② がん検診の施行場所、受付日時の明確化
- ③ がん検診申し込みの利便性の向上
- ④ がん検診費用の軽減、無償化
- ⑤ がん精密検査未受診者への個別勧奨

2. がん医療（主に医療機関）

3. がんとの共生

＜課題＞ がんサバイバーシップの支援（がんと診断された方ががんと共に生きていくプロセスに対する支援）

- ① がん相談支援、情報提供（心身のサポート、生活サポートなど）
- ② 緩和ケア（疼痛コントロール、メンタルケアなど：主に医療機関）
- ③ がんサバイバー/家族における情報共有、連帯感（がん患者会など）
- ④ 治療就労両立支援
- ⑤ アピアランスケア

<現在の主な取り組み（堺市）>

I がん予防(がん検診率・精密検査受診率の向上)

①がん検診への動機付け

- ・がん検診費用の経済支援：**がん検診費用無償化 2018**
- ・個別受診勧奨（はがき、ショートメッセージサービス 2020、電話など）
- ・紙媒体による広告（ポスター（**動物カルタポスター 2025**）、リーフレット、チラシ、広報紙、ガイドブックなど）
- ・デジタル媒体による発信（ホームページ、SNS、デジタルサイネージ、**ショート動画 2025** など）
- ・区保健センターにおけるがん啓発（健康教育、病院・学校との連携など）
- ・イベント開催

(堺市主催)

乳がんタペストリー 2010、ピンクリボンキャンペーン(乳がん月間)旧堺燈台/
フェニーチェ堺(街路灯)をピンクにライトアップ 2022、さかい健康フェスティル
in イオンモール堺鉄砲町 2023（乳がん検診）、がんに関する啓発展示 2023、
パネル展:乳がん、禁煙週間

(堺市共催)

ろうさい市民がんフォーラム 2016、病院フェア(堺市立総合医療センター)2023
堺市協力、歯ッピー健康フェア(堺市歯科医師会)(口腔がん検診)

(その他)

SDGsフェスタ(乳がん検診)、自由の泉大学(がんに関する講演)など

②がん検診の施行場所、受付日時の明確化

- ・ **堺市けんしん総合サイト「医療機関を探す」機能 2017**

③がん検診申し込みの利便性の向上

- ・ イベント開催時の受付
- ・ 電子申請(受診資格証明書) 2024

④がん精密検査未受診者への勧奨

- ・ **区保健センターにおける個別勧奨（5がん対象） 2023**

II がんとの共生：がんサバイバーシップの支援

- ・ **アピアランスケア(ウィッグ等購入費用の助成) 2025**
- ・ 区保健センターにおける相談受付

< 前回委員会（2026/1/22 開催）を受けての提案 >

I がん予防について

○ がん検診率の向上

検討1: 本市におけるがん検診対象者の人数を把握

がん検診率の向上のためには、まずがん検診の現状を十分に分析し、対策を講じる必要がある。がん検診の現状の分析には、以前から課題として挙げられているように、まず本市におけるがん検診対象者の人数を把握しなければならない。藤田委員のご発言通り、会社検診など他の機関でがん検診を受検している人がどの程度いるかは、一度しっかりとしたアンケート調査を行って把握する必要がある。その上での検診受検率とすべきである。

検討2: がん種別のがん検診者数(受診率)、男女別ならびに年齢別(10 才毎)の受診率の検討、がん種による検診率差の検討

がん検診受検者数については、5 がんのいずれかの検診を受検した人数をメインの指標にしているが、本来目標は、個々において 5 がんすべてのがん検診を受検いただくことである。今回追加いただいたがん種別のがん検診者数(検診率)が、少なくとも検討には必須である。さらには、各がん種において、男女別、年齢別(10 才毎)の受診率を出して、その傾向から検討を進めることが望ましい。がん種によって検診率に差がある(6.3%～25.9%)ことも検討すべき点である。

検討3: 検診率の高い政令指定市の取り組み調査

検討4: 検診率向上のための施策:「自己負担無償化」のみでの限界、特典付与の検討

政令指定都市のうち、唯一「自己負担無償化」しているにもかかわらず、検診受診率は平均レベルである。西村委員のご発言の通り、検診率の高い市の取り組みは参考になる。自己負担無償化が始まって8年目であるが、3 年前からはほぼ検診率の向上を認めず、同施策による改善は期待できない。自己負担無償化は一旦終了し、代わりに、何か市民の受検の動機付けになるような魅力的なアイデアが必要である。例えば、検診受検者全員に堺市名産あるいは堺市オリジナルの記念品を進呈したり、抽選でさらに素敵なプレゼントを贈ることに今の予算をあてることができれば、市民のなかで話題となり、盛り上がるかもしれない。スタンプ制にして、男性 3 つ/女性 5 つのすべてのがん検診を受検すれば特典を設けるなども方法である。再来年度に向けて、このようななんらかのアイデアを出して動機付けを行うことが望ましい。

検討5: 「堺市けんしん総合サイト」の有効活用

検討6: 平日夜、土曜と日曜祝日を分けた検索機能の追加

これまで、はがき、ショートメッセージサービスなどによる個別受診勧奨、紙媒体やデジタル媒体による多数の発信、区保健センターにおけるがん啓発、そして多数のイベント開催に取り組んでいただいていた。非常に大事な取り組みである。なかでも、2017 年に設けられた「堺市

けんしん総合サイト」の医療機関検索機能は非常に有用なツールであり、がん検診を受けることができる施設の住所・電話番号・マップ・アクセス、がん検診の種類、受付時間・曜日が、簡単に検索できる。さまざまな発信サイトで、“堺市のがん検診はここから 一堺市けんしん総合サイトで簡単に検索できる”などと銘打ったタイトルをつけて、大々的に広報すべきである。今年度作成されたショート動画は、「堺市けんしん総合サイト」の医療機関検索機能を非常にわかりやすく解説している。このショート動画を You Tube にあげるなども効果的であろう。

「堺市けんしん総合サイト」の検索機能では、土日祝に開業している施設の検索が可能であるが、実際に働く世代の人たちが、欠勤することなく検診を受検できるのは、平日夜と休日である。平日夜の検索を可能にいただき、休日にも土曜と日祝を分けて検索できることが望ましい。また、ホームページを利用できない人たちのために、同様の情報がわかるガイドブックの作成が望ましい。

※「無料がん検診を受けましょう - 堺市」サイトが登場（2026/4/1）

-自費で受けると数千円～1万円程度かかるがん検診ですが、堺市民の対象の方は令和7年度もすべてのがん検診が無料で受けられます。

検討7: イベント会場での受付の推進、複数の検診の同時実施

がん検診申し込みの利便性の向上については、現在も一部で行われているイベント開催時の受付の推進が望まれる。複数の検診の同時実施も行えるように配慮したい。

○ がん精密検査検診率の向上

検討8: 保健センターによる未受診者への個別勧奨(5 がん対象)の推進

がん精密検査の受診については、2023 年より開始された各区保健センターによる未受診者への個別勧奨(5 がん対象)の推進が望まれる。山本委員のご発言の通り、将来的には、医療 DX を用いて、受診から結果報告までを短期間で円滑にできるようにすることが重要である。

(アンケートからの主な検討課題)

- 体験談の動画作成
- かかりつけ医からの受診勧奨
- 職域(企業)検診との統合
- 出張検診(検診車による集団検診)
- オンラインによる検診予約システム
- 医療 DX の充実(検査予約、結果確認、オンライン読影など)

Ⅱ がんと共生

検討9: 本庁課による“がん相談窓口への導線”の整備と広報:保健所・保健センターを主導

“がんと共生”については、これまで当委員会ではほとんど検討されていない。各区の保健センターが主な窓口になり、問題があれば本庁課に上がってくるのが現状である。2 人に 1 人ががんに罹患し共生する時代である。がんサバイバーやそのご家族からのがんに関する相談を積極的に受けて支援することが大切である。個別の相談窓口としては保健センターやがん診療連携拠点病院の相談支援センターが中心であるが、本庁課が保健所・保健センターを主導し、積極的に「市民が迷わず躊躇せず相談できる導線の整備とその広報」を行っていただきたい。

(アンケートからの主な検討課題)

- がん患者会
- オンライン相談(チャット方式の導入)
- 中小企業における治療両立支援のサポート
- アピアランスケア サポート事業の広報